

# 世界と地域に新たな価値を創造しつづけるSDGs推進大学

－SDGsに貢献する岡山大学の取組－

# Move on Now



岡山大学副学長（海外戦略担当）

横井 篤文

2019年2月17日

# Heritage of Okayama

～「社会課題解決」の遺伝子を受け継ぐ岡山大学～



岡山大学  
OKAYAMA UNIVERSITY

## 江戸時代

日本最古の庶民の学校  
閑谷学校による  
実践人教育

山田方谷  
備中松山藩の  
財政・教育再建

津山洋学による  
日本の近代化への貢献

石坂桑亀による  
岡山藩医学館創設



## 明治・大正

倉敷紡績社長  
大原孫三郎氏による  
大原奨農会農業研究所  
倉敷労働科学研究所  
の設立

笠井信一知事による  
民生委員制度の源流  
となる濟世顧問制度  
の創設



## 昭和時代

岡山医科大学、  
温知学校、旧制  
第六高等学校、  
大原奨農会農業  
研究所が統合され  
新制国立大学  
岡山大学創立

大原總一郎氏  
高梁川流域連盟  
を創設



## 平成・現在

国立大学で初めて  
“環境”の名が付いた  
学部として岡山大学  
「環境理工学部」  
を新設

岡山市が世界初の7つ  
の「ESDに関する地  
域の拠点（RCE）」  
認定

岡山大学にアジア初  
ユネスコチェア設置



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization



UNESCO Chair on  
Research and Education for  
Sustainable Development  
Japan



OKAYAMA UNIV.

# SDGsに至る岡山大学と岡山市の実績

持続可能な開発のための教育と研究の世界拠点へ

2016年は日本の国連加盟60周年

2017年は日本国連協会創立70周年



2016.05  
日本政府が「持続可能な開発目標（SDGs）推進本部」を発足

2015.09  
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 国連が持続可能な開発目標（SDGs）を採択

2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017

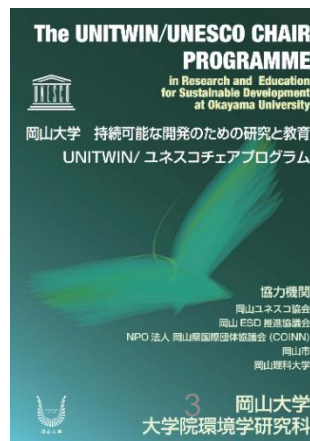
2017年は岡山大学ユネスコチェア（ESD）10周年



2014.10  
ESDに関するユネスコ世界会議開催

2007.04  
岡山大学がアジア初の  
ユネスコチェア（ESD）

2005.6  
岡山市が世界初の7つの  
「ESDに関する地域の拠点」  
（RCE）」認定



2016.12  
ユネスコ/日本ESD賞

2017.01  
ユネスコ学習都市賞

# 2017年岡山大学SDGs活動実績



岡山大学  
OKAYAMA UNIVERSITY



国連との連携

5月

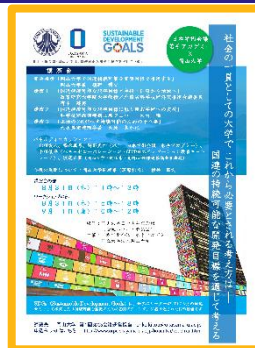
国連広報センター・国連大学  
サティバリティ高等研究所を  
訪問、榎野学長と意見交換



地元  
経済界との連携

8月

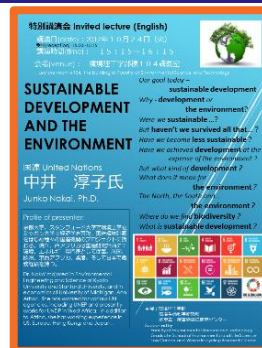
岡山経済同友会講演会  
にて、榎野学長が本学  
のSDGs推進を説明



地域固有の文化  
とSDGsの共生

9月

日本学術会議  
若手アカデミー共催  
SDGsシンポジウム



基盤としての  
環境科学

10月

SDGs学内特別講演会  
(講師：国連開発計画  
中井 淳子氏)



ESDからSDGs

11月

ユネスコ本部（仏）にて、  
ユネスコ／日本ESD賞授  
与式（林文部科学大臣と  
榎野学長）



世界・地域との  
パートナーシップ

12月

SDGsの達成に向けた  
RCE第一回世界会議  
第1回「ジャパンSDGs  
アワード」特別賞を受賞!!  
(国公立大学では唯一)

<SDGs活動成果物> ...これらは大学公式ウェブサイト内に掲載中 (<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/okayama-sdgs.html>)

## SDGsに関する岡山大学の行動指針

岡山大学は、その理念・目的の下、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献する活動に取り組み、持続可能な社会の実現を牽引していく。

【SDGsに関する岡山大学の行動指針を示す意義】

- ① 人類共通の今日的課題であるSDGsへ貢献することは、岡山大学の理念である「高度な知の創成と的確な知の継承」のもと、岡山大学の目的である「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」に資するものである。
- ② ユネスコチャームを持ちESDを推進してきた岡山大学には、岡山地域や国際社会と一体となってSDGsを推進していく素地と責任がある。
- ③ SDGsを社会との共通言語として教育研究並びに社会貢献活動を行っていく。
- ④ 2030年の達成に貢献する「SDGs課題解決力」を有する人材を育成する。

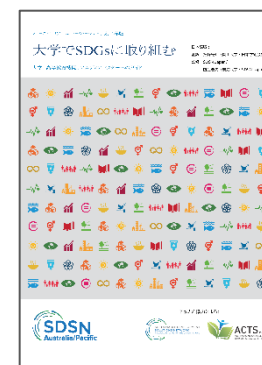
## SDGsの達成に向けた岡山大学の取組事例集

### SDGsの達成に向けた 岡山大学の取組事例集

- i. 気候環境に適応する植物の開発
- ii. SDGsを牽引する人材の育成
- iii. 性と生殖に関する教育研究・医療拠点
- iv. 医療における社会貢献
- v. まちづくりへの支援
- vi. エネルギー確保のための知識とソリューションの提供
- vii. 共生社会の実現
- viii. 科学技術イノベーションの促進



## SDSNオーストラリア 「大学におけるSDGs推進ガイド」(翻訳)



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

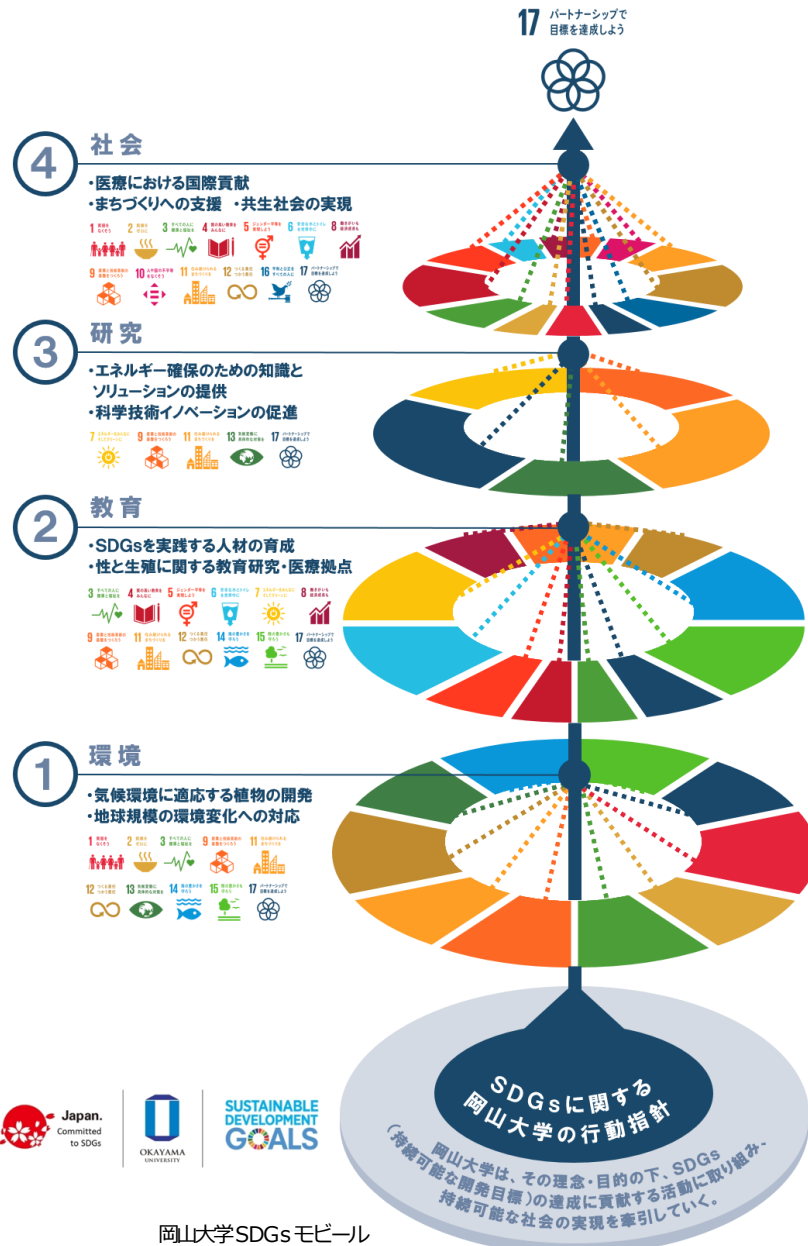
# 第1回「ジャパンSDGsアワード」特別賞 「SDGsパートナーシップ賞」受賞

超えて繋がる岡山大学SDGsの  
パートナーシップ《Goal 17》  
が高く評価された



2017.12.26 総理大臣官邸における授賞式

【国公立大学では唯一の受賞】



# 世界・地域とのパートナーシップ強化へ

2018.1.20 @東京



## 第1回ジャパンSDGs アワード報告会

日本政府がSDGs達成に資する優れた取組みを行っている企業・団体等を選定し、表彰するジャパンSDGsアワードを受賞した全12団体が一堂に揃った報告会で、榎野学長が講演。

2018.2.28 @岡山



## 岡山大学SDGs 推進本部設置

岡山大学のSDGs達成の観点を取り入れた大学運営を進めるとともに、地域及び国際社会とのより一体的なパートナーシップ構築のための取組みを推進することを目的として、岡山大学SDGs推進本部設置。

2018.3.22 @ドイツ・ボン



## 持続可能な開発のための グローバル・フェスティバル オブ・アクション

第2回目となる国連主催のSDGs世界会議で、横井国際担当副理事がこれまでの岡山大学におけるSDGsの取組みとともに岡山から世界に向けてSDGsを強く先導していくメッセージを発信。

2018.3.29 @倉敷



## みずしま滞在型環境学習 コンソーシアム キックオフシンポジウム

榎野学長が、地域の課題がグローバル・イノベーションに直結する、地域循環型の社会課題解決サイクルの重要性を提起し、コンソーシアムへの期待を表明。



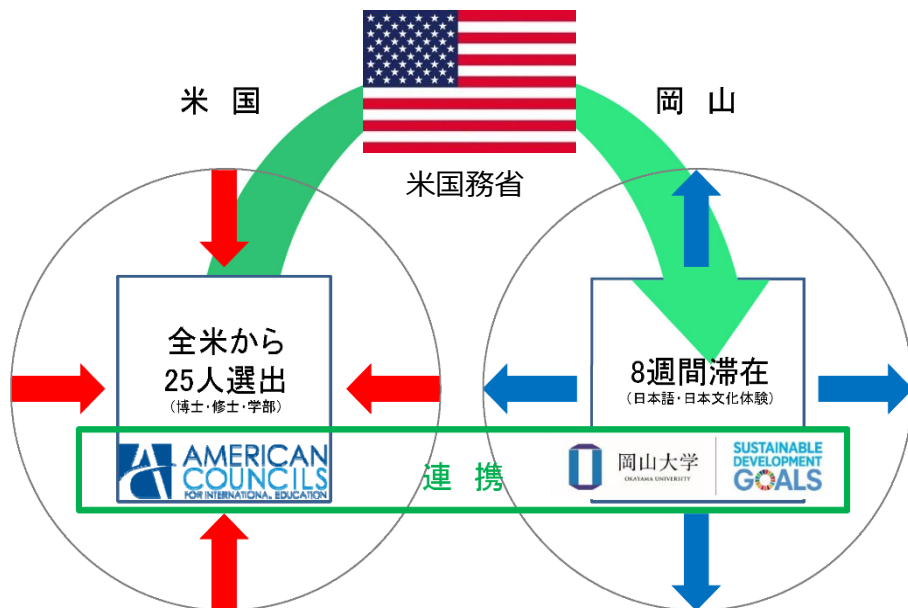
【UN Web TV : 当日の動画を掲載】

<http://webtv.un.org/search/japans-sdgs-award-sdg-studio-global-festival-of-action-for-sustainable-development-2018-/5756362455001/?term=&lan=english&page=2>



2019開始

「クリティカル・ランゲージ・スカラーシップ (CLS)」を採択  
アメリカ国務省から選抜された  
25人の留学生を受け入れ



全米の大学から応募(約500人) 地域を活用したSDGs学習

岡山大学創立70周年記念国際シンポジウムの開催

「持続可能な開発目標 (SDGs) のための日米若手人材育成交流に向けて」

【日 時】 2019年7月6日 (土)

【場 所】 岡山大学創立50周年記念館金光ホール



2018.10 米ミシガン大学訪問

2020年に、アメリカの日本研究拠点として国内では唯一岡山に設置された「ミシガン大学 Okayama Field Station」の70周年に向けての連携強化へ。

2018年度より、約20人のライデン大学学部生を「日本語日本文化研修プログラム」にて、3ヶ月間短期受け入れ、本学独自カリキュラムで学ぶ。(5年間継続予定)



2018.4 久昌寺での茶会と写経体験

# 加速する岡山SDGs国内外への広がり

## 世界ユースサミット「One Young World 2018」に岡山大学の学生が日本代表として参加



2018.10 オランダ・ハーグ

## One Young World JAPAN CAUCUS 2018で柴山文部科学大臣と対談

SCHEDULE (Doors Open 17:00 -) 2018.11

17:15 - 17:20	OPENING GREETING
 KIMIHIRO OKUBO Chairman, ONE YOUNG WORLD JAPAN	
17:20 - 18:00	ONE YOUNG WORLD 2018 SUMMIT IMPRESSIONS
 JAN HEIN CHRISTOFFELS Honorary Consul, THE EMBASSY OF THE KINGDOM OF THE NETHERLANDS	 MASAHIKO SHIBAYAMA Minister NEXT
18:00 - 18:30	JAPANESE GOVERNMENT: TAKING ACTION ON SDGs
 ATSUFUMI YOSHIDA Vice President, OKAYAMA UNIVERSITY	 MASAHIKO SHIBAYAMA Minister NEXT
18:30 - 19:15	COCKTAILS & NETWORKING
19:15 - 20:00	ENGAGING NEXT GEN LEADERS
 SARAH YAMAGATA Director, IBO, UNILEVER, JAPAN	 YUKA SHIMADA CO-Founder, GLOBAL PERSPECTIVES
20:00 - 20:45	TAKING SDG PROJECTS FROM IDEA TO ACTION
 DR. KENTARO KOGA Associate Professor, HITTOSHIBASHI, ICS	 SUSUMU ADACHI Chief Executive Officer, PWC CONSULTING, LLC
20:45 - 22:00	COCKTAILS & NETWORKING

www.oneyoungworld-japan.com



写真提供: (c) em.fotografik | Emerge Inc. <http://www.emfotografik.com/>

※世界190カ国以上から各国を代表する次世代の若いリーダーが会する世界最大級のサミット。2015年から4大会連続で岡山大学も参加。SDGsを枠組みとしながら、気候変動から戦争と平和、教育、人権、リーダーシップ、グローバルビジネス等、多岐に渡ってディスカッション。

※基調講演及び殿下啓ディスカッションの統括ファシリテーターに横井 篤文（岡山大学 海外戦略担当副学長）が招待。ディスカッションのテーマとして「水と災害」を企画し、SDGsを枠組みとしながら、両殿下御接見のもと、世界から選抜された9名の外国青年とのディスカッションをファシリテート。

## 皇太子同妃両殿下御成婚記念事業 内閣府主催・宮内庁協力の「国際青年交流会議」に招待



2018.9 東京



# SDGs達成に向けたESD教師教育国際拠点

岡山大学をハブとする「SDGsの学びのまち 岡山」を世界のモデルに



岡山大学  
OKAYAMA UNIVERSITY

2030 目標4 「質の高い教育をみんなに」の達成

## 「SDGsの学びのまち 岡山」構想

ESDの優れた実績をもとに、世界の範たるSDGs教育を学校、地域、企業等で展開。  
岡山大学はSDGs教育のマルチステークホルダーとして機能。地域で、そして世界で

2020 SDGs'Education (SDGs教育の10年)の提案・展開・検証  
SDGs教育のキックオフ。ユネスコ・岡山大学・岡山市のイニシアチブによる世界会議開催

ESD (持続可能な開発のための教育) とGCED (グローバル市民教育) の連携推進 SDGs教育のモデルを学校、地域、企業等で開発・展開・検証

ESD教師教育の  
世界基準の創出

2019 ESD教師教育世界会議の開催  
2018.11 ESD教師教育アジア太平洋会議の開催

ESD推進のための  
公民館・学校連携

2018.9 アジア地域ESDワークショップの開催  
SDGsターゲット4.7達成に向けたユネスコ・岡山大学・岡山市の連携

岡山大学 持続可能な未来のための教育研究センターの開設  
日本初のSDGs教育の学術研究拠点。SDGs教育を岡山から世界に発信

2017 SDGsの達成に向けたRCE第一回世界会議の開催

2014 ESDに関するユネスコ世界会議の開催

2007 岡山大学がアジア初のユネスコチェア (ESD)  
2005 RCE岡山 (岡山市) 世界初の7つの「ESDに関する地域の拠点」



2017 ユネスコ学習都市賞  
2016 ユネスコ/日本ESD賞



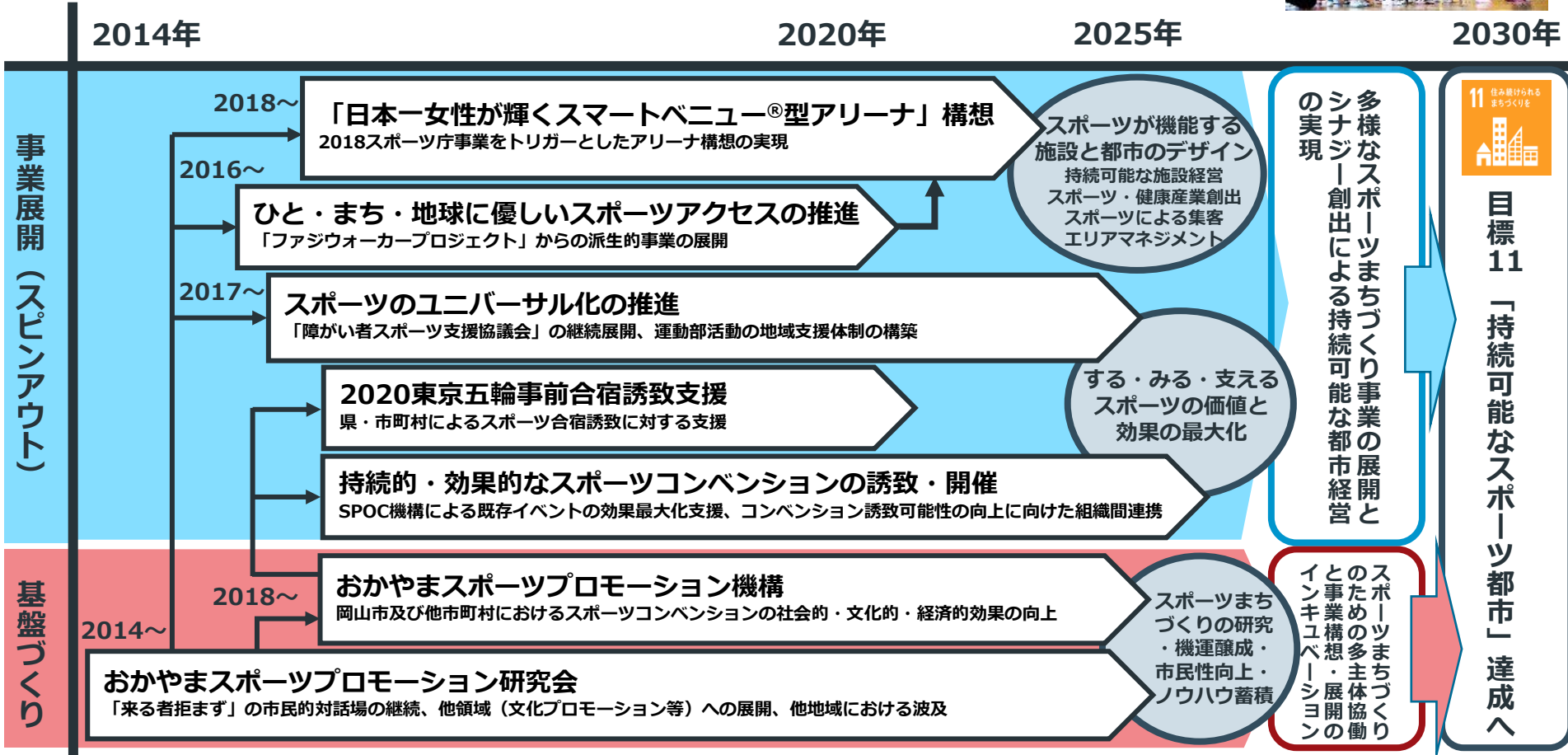
# 地域スポーツ振興から産業イノベーション創出

包摂的で持続可能な都市及び豊かなスポーツ文化が享受できる生活を実現



岡山大学  
OKAYAMA UNIVERSITY

目標11「持続可能な都市」達成に向けて、おかやまスポーツプロモーション研究会は、スポーツまちづくりのインキュベーション・人材育成基盤として活動を継続し、おかやまスポーツプロモーション機構を公的基盤組織として、スポーツライフの充実、スポーツを核としたイノベーション創出・産業振興、スポーツ都市ブランディングにより、スポーツを核とした持続可能な都市づくりに貢献することを目指す。



**背景とニーズ**：岡山県北部の旧美作国地域は豊かな伝統や文化を持つが、現状では高齢化や人口減が進んでおり持続的な地域づくりや、今後地域を担う人材の育成が急務となっている。

**概要**：2018年7月、岡山大学は旧美作国エリアの3市5町2村と津山商工会議所との包括連携協定を結び、地方創生および人材育成の2点について協力を進めることとなった。今後は各自治体のニーズに基づき、特に①教育と人材育成、②地域課題の分析と解決策の策定、③新たな産業の創出、④地域医療支援等に取り組む。2018年度はニーズ調査、講演会、学生によるアイデアソン、高校生向けSDGsサイエンスカフェ等を行った。

**期待される効果**：参加した自治体の中で、行政・企業・地域コミュニティが協働して地域の課題に取り組むことを通じて、その課題の解決に近づくだけでなく、次世代の人材を育成することが期待される。



包括連携協定 調印式

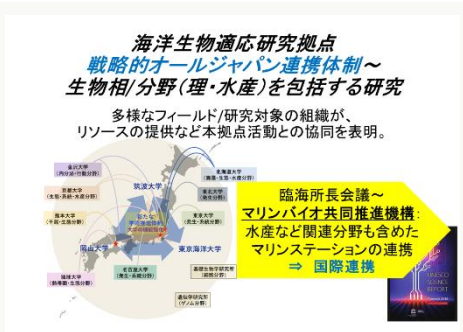


津山でのSDGsサイエンスカフェ  
「2030年の仕事論」 光景

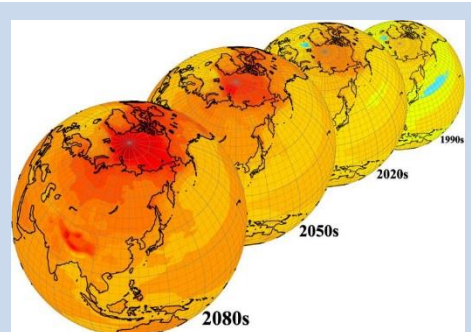
# 持続可能な未来に貢献する研究事例



オオムギを用いた  
津波被災農地の活用



海洋生物学教育・研究の  
グローバル連携の構築



長期気候変動のメカニズム  
解明等に関する教育・研究



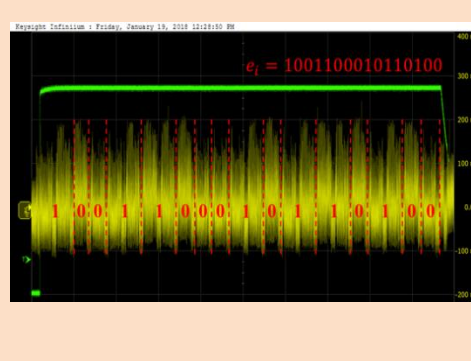
GADに対する包括的治療・研究  
・教育の国内拠点構築



インド感染症共同研究センター  
での世界規模下痢感染症対策



新世代放射線がん治療法の開発  
と国際標準化の取組み



持続可能なイノベーションの  
ためのIoTセキュリティの実現



持続可能な物質群からの  
高性能材料の創出



# STI (Science, Technology and Innovation) for SDGs